R　　授業プランシート　（　教科　　社会科　　）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　月　　　　　日　（　　　　）　　　　３　年　　　　　組

単元名　　第６章第３節　日中戦争と総戦力に向かう国民生活（　　４/４　）

４　日中戦争と総力戦に向かう国民生活（教科書ｐ238・２３９）　 　　　　授業者：

|  |  |
| --- | --- |
| １　本時のねらい | |
| 盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が始まったことを理解させ、長期化する戦時下の国民生活の変化について着目し、平和な生活を築くことの大切さに気付くことができる。 | （評価場面方法）【思考・判断・表現】戦争を進めるために、政府が国民に対して行った政策を読み取り、大正期の政治や生活との違いに着目し、資料を活用しながら考察し適切に表現している。 |
| ２　めあて、まとめ、振り返り |  |
| （まとめ）日中戦争の中で、国の予算の大部分を軍事費にあてるため、１９３８年に（国家総動員法）を定め、政党は解散し、（大政翼賛会）に合流、（軍国主義）教育、（配給）制も始まるなど戦争  優先の政策が進められていった。 | （めあて）日本は戦争を進めるために、  　　　　　　　　どのような政策を行ったのだろうか。  ｓ  正対 |
| 【単元を貫く問い】なぜ、世界や日本では、ファシズムや軍国主義の風潮が強まっていったのだろうか。  **《振り返り》**　世界や日本でファシズムや軍国主義の風潮が強まっていったのは、（　　　　　　　　　　　　　）が関係すると考える。  なぜなら、（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）だから。＊例文は変えてもよい。（必ず自分の考えに根拠を入れること） | |
| ３　本時の展開 |  |
| 導入　　　①　「国際連盟脱退の新聞記事」（前時の復習）「日中戦争の広がり」（地図を確認）・（蒋介石・毛沢東）の写真などから日中戦争の広がりを確認する。②「世界恐慌」「近代における軍事費の変化」厳しい状況を確認、戦争を行うには物資が必要。→めあてを引き出す。  《めあて》日本は戦争を進めるために、どのような政策を行ったのだろうか？  展開　（１）戦争に向かう政府の政策を出しあう。（１９３８年：国家総動員法・政党の解散「大政翼賛会」に  　　　　　　合流・治安維持法強化・労働組合解散・言論統制などが出されたことを確認。  《FigJam・canva等を活用》生徒のタブレットへ資料を配布。実際の配給切符の使用のシミュレーションを通して戦時下の生活理解につなげる。個人→ペア→全体  【評価B】戦局悪化に伴う国民生活の変化について、自分の言葉で表現している。  【評価Cへの支援】戦時下の生活の資料をもとに現代の生活と比較し、国民生活の変化に気づかせる。  　　　　　母・子（２人）１家庭100点で計算する。＊点数は地域によっても変動する場合がある。  ◇配給切符をどのように使用するといいのだろうか？  　　　　　　　　　　　　～戦争に向かう人々の生活の実態に迫る～  中心発問    配給切符を使用して気付いたことを  メモしよう！    まとめ　日中戦争の中で、国の予算の大部分を軍事費にあてるため、１９３８年に（国家  総動員法）を定め、政党は解散し、（大政翼賛会）に合流、（軍国主義）教育、（配給）制  も始まるなど戦争優先の政策が進められていった。  資料①「ぜいたくを戒める看板」　②**「沖縄新報」（近代沖縄史料デジタルアーカイブより）「**食糧の自給へ**」の記事**から人々の生活変化を実感させる。平和な生活を築くことの大切さに築かせ、振り返りにつなげる。  **《振り返り》**　世界恐慌後、日本や世界の動きは、（　　　　　　　　　　　　　　　）に変化していったと考える。  　　　　　　　　　　　なぜなら、（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）だから。 | |
| ４　板書レイアウト等 |  |
| 【単元を貫く問い】世界恐慌後、日本や世界の動きはどのように変化したのだろうか？  **めあて**　日本は戦争を進めるためにどのような政策を行ったのだろうか？  **まとめ**日中戦争の中で、国の  予算の大部分を軍事費にあてるため、１９３８年に（国家総動員法）を定め、政党は解散し、（大政翼賛会）に合流、（軍国主義）教育、（配給）制も始まるなど戦争優先の政策が進められていった。    世界恐慌・関東大震災    戦争に向かう  政府の政策  軍国主義教育  治安維持法強化  国家総動員法  言論統制  大政  翼賛会    **単元の振り返り**使用してほしいキーワード  　・世界恐慌　・ニューディール政策　・ブロック経済　・五か年計画　・ヒトラー　・ファシズム　・満州事変  ・国際連盟脱退・五・一五事件　・二・二六事件　・日中戦争　　・国家総動員法　・大政翼賛会  **単元を貫く課題** | |

【参考文献等】

・帝国書院社会科『中学生の歴史』

・琉球王国交流史・近代沖縄史料デジタルアーカイブ　『食糧の自給へ』　1944.11.14　沖縄新報

https://ryuoki-archive.jp/kin-list/

・『経済統制下の県民生活資料』［物価編］